

# 今、知りたい！ワクチンの疑問 新型コロナワクチン Q & A

厚生労働省「新型コロナワクチン Q&A 特設サイト」を参考に作成しています。詳しく知りたい方はこちら。



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare  
▶新型コロナワクチン Q&A 特設サイト  
(厚生労働省ホームページ)

**Q** ワクチンを接種した後も、マスクは着けないといけないの？

**A** 接種した人から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。そのため、ワクチン接種後も引き続き、感染予防対策の継続をお願いします。

**Q** 変異株の新型コロナウイルスにも効果はあるの？

**A** 一般論として、ウイルスは絶えず変異を起こしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。それぞれの変異株に対するワクチンの有効性がどのくらいあるのかについては、確認が進められています。

**Q** ワクチンを接種した後、生活上で注意することは？

**A** 接種後は、接種部位の痛みが出たり、倦怠感、発熱、頭痛や関節痛などが生じることがあります。できるだけ接種当日・翌日に無理をしないように予定を立てておきましょう。



**Q** 年齢でワクチンの効果や副反応に違いはあるの？

**A** 日本で承認されたワクチンは、あらゆる年齢層の人に高い発症予防効果があります。一方、若年者に比べ高齢者の方が少し副反応が出にくいことが分かっています。

**Q** ワクチンはどのくらい持続期間があるの？

**A** ファイザー社製ワクチンは、海外での臨床試験後の追跡調査で、2回目接種後6ヶ月の発症予防効果は91.3%であったという報告があります。今後も引き続き、集積されるさまざまなデータを見ていく必要があります。

**Q** 妊娠中・授乳中・妊娠を計画中だけど、ワクチン接種していいの？

**A** 妊娠中、授乳中、妊娠を計画中の人も、ワクチンを接種することができます。ただし、現段階では安全性に関するデータが限られているため、接種することのメリット・デメリットをよく検討・相談して判断してください。

## 学生や単身赴任中で接種券が必要な人へ優先的に接種券を送ります

小林市外在住で市内に住所がある学生や単身赴任中の人で、国の大規模接種会場での接種や職域接種を希望するに当たって接種券が必要な人に対して、優先的に接種券を送付します。

**申請方法** メール、ファクス、郵送

**提出先** 新型コロナウイルスワクチン接種推進室  
(小林市真方89番地1新別館2階第4会議室)

ファックス 0984-23-0325

メール k\_kobavac@city.kobayashi.lg.jp

### 提出書類

- 必要事項を記入した申請書  
※印鑑の押印は必要ありません
- 学生証か社員証の写し
- 本人確認書類の写し  
※運転免許証、保険証など



▶市ホームページ

# 新型コロナワクチンの接種が進んでいます

現在、65歳以上の高齢者と基礎疾患（64歳以下）がある人、高齢者施設などに勤務する人に接種券を送付し、ワクチンの接種を行っています。

64歳以下の人へは、接種状況やワクチンの供給量をみながら順次接種券を送付し、11月中旬までに希望する人へのワクチン接種を終えることを目指します。接種の手順などは、接種券に同封するチラシを確認ください。



▶最新情報はコチラ  
(市ホームページ)

●問＝新型コロナウイルスワクチン接種推進室 Tel 24-5007

## 接種の状況と今後のスケジュール（6月21日現在）

接種済み人数は、ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）で報告されている接種実績になります。なお、接種スケジュールは今後の状況によって変更になる場合があります。

対象者	1回目 接種済み	2回目 接種済み	6月	7月	8月	9月	10月	11月
医療従事者等	2,355人	2,249人	接種1回目	接種2回目				
65歳以上の人 (S32.4.1以前生まれの人)	7,741人	2,039人	接種1回目	接種2回目				
基礎疾患がある人 高齢者施設等従事者	609人	148人	接種1回目	接種2回目				
上記以外の人	-	-			接種1回目	接種2回目		
	10,705人	4,436人						

## 市内医療機関で接種しているワクチン（ファイザー社製）の特徴

日本では現在、ファイザー社、武田／モデルナ社、アストラゼネカ社の3種類のワクチンが薬事承認されており、そのうち、予防接種法に基づく公費による予防接種にはファイザー社製と武田／モデルナ社製のワクチンが使用されています。

市内の医療機関などでは、ファイザー社製を使用してワクチン接種を行っています。

	接種方法	発症予防効果 (海外の臨床試験)	接種対象者	十分な免疫ができる時期
ファイザー社製 (市内医療機関で使用)	2回(筋肉注射) (3週間間隔)	95%	12歳以上	2回目の接種を受けてから 7日程度経って以降
武田／モデルナ社製 (大規模接種会場などで使用)	2回(筋肉注射) (4週間間隔)	94%	18歳以上	2回目の接種を受けてから 14日程度経って以降

※厚生労働省ホームページから作成

## ファイザー社製ワクチンの副反応、感染予防効果

主な副反応は、頭痛、関節や筋肉の痛み、注射した部分の痛み、疲労、寒気、発熱などがあります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。

ファイザー社製ワクチンについて、現時点では感染予防効果は十分には明らかになっていません。そのため、ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。